

## 2025年度（対象年度：2024）自己点検・評価シート

組織名	教職センター
責任者	落合 雄彦

基準7	学生支援
-----	------

## ■事前確認

前年度の自己点検・評価シートから、伸長・改善計画、評価結果の課題事項（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】）を転記していますので、確認してください。

認証評価結果において、大学基準協会から指摘された事項について確認してください。

<前年度の伸長・改善計画>

項目 No.	課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）
	記入なし

<前年度の評価結果（課題事項）>

課題事項
なし

<【参考】2020年度 認証評価結果における指摘事項>

総評における助言 / 是正勧告 / 改善課題
なし

## I. 自己点検・評価

## 1 自己点検・評価結果 &lt; 評定 &gt;

自己点検・評価基準を参照し、「自己評価」欄に「S」「A」「B」「C」の4段階で記入してください。

項目 No.	評価項目 〈大学基準協会の「評価項目」に相当〉	点検項目 〈大学基準協会の「評価の視点」に相当〉	自己評価 (現状)
701	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施しているか。	①教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができるか。	A
		②教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができるか、学習指導員等としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか。	A
		③学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができるか。	A
703	キャリア支援の方針に基づき、キャリア支援の体制は整備されているか。また、キャリア支援は適切に行われているか。	①学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか。	A

## 2 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「点検項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定又は実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証・分析を行い、「どのように（基準）」自己評価していますか。

701① 本学は京都教育大学大学院連合教職実践研究科（京都連合教職大学院）に参画している。この京都連合教職大学院は、京都教育大学を基幹大学とし、9つの私立大学、京都府教育委員会、京都市教育委員会によって構成され、実務担当者会議および代表者会議を中心として連携・交流が図られている [701 ア] [701 イ]。京都連合教職大学院については、連合参加大学を対象に入学者選抜における特別推薦枠が設けられている。当該特別推薦入試の制度や京都連合教職大学院での学びについて周知するため、本学にて京都連合教職大学院担当教員や連合教職大学院へ進学した卒業生による学内説明会を開催しており、学生の進路指導の充実に努めている [701 ウ]。

また、本学は京都地区大学教職課程協議会（京教協）、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）、および全国私立大学教職課程協会（全私教協）に加盟している [701 エ] [701 オ] [701 カ]。

京教協では、教育実習受け入れ校を対象としたアンケート、京教協加盟校を対象としたアンケートを実施し、その結果や実習状況について「教育実習反省会」にて情報交換・共有をしている。このアンケート結果の一部は、「教育実習指導」等を通じて、学生の指導に活かしている [701 キ]。

全私教協では2024年度第43回研究大会の運営委員校として、研究大会の開催に携わった [701 ク]。

701② 教育実習で学生を送り出す実習校には、実習期間中に教職課程担当教員や学生指導教員が巡回指導として訪問している。これにより、実習中の学生を指導・激励するとともに、実習校と情報共有を図り、教育実習が適切に実施できるよう協力関係を築いている [701 ケ]。

また、学校現場での体験活動を行う機会を提供するため、本学と京都市教育委員会との間で「学生ボランティア」学校サポート事業にかかる協定を締結し、連携を深めている [701 コ]。その他、京都府教育委員会と連携し、『京都府教育委員会との連携による「教員養成サポートセミナー」』を実施し、学生が京都府内の中学校にて学校ボランティアを行った [701 サ]。

瀬田キャンパス（滋賀県）においては、本学瀬田キャンパスの近隣にある中学校と連携し、定期的に教職課程を履修する学生を学生ボランティアとして送り出している [701 シ]。

その他にも、京都市教育委員会による「京都教師塾」、滋賀県教育委員会による「滋賀の教師塾」について深草・大宮・瀬田の全キャンパスにて説明会を開催したり、神戸市教育委員会が取り組むスクールサポーター制度へ推薦したりするなど、学生に対して学習指導員等としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供している [701 ス] [701 セ]。

701③ 介護等体験を履修する学生を対象に講演会を実施し、特別養護老人ホーム職員や支援学校教員などをゲストスピーカーとして招聘し、体験現場の実情を学ぶ機会としている [701 ソ]。4年次後期に履修する「教職実践演習」（教員免許状取得にあたる必修科目）では、9月に開催される初回授業（全体会）にて実務経験のある講師（他大学教員等）による講演を行っている [701 タ]。

この他、教職課程を履修している学生に対し、教職に就く本学卒業生（龍谷大学 校友会 学校園教員支部 教龍会）が主催する実践報告会・交流会への参加を推奨している。学生にとって、現職の教員である本学卒業生の実践報告から教職現場の実情を学び、現職教員との交流によって卒業後に教職に就く動機を深める機会としている [701 チ]。

703① 教職課程を履修する学生への支援体制を強化するため、「教職進路指導員」を任用しており、進路支援や教員採用試験指導など学生へのキャリア支援にあたっている。「教職進路指導員」は実務経験が豊富な者を任用しており、教育現場のニーズを踏まえ、本学学生に応じた進路指導を行っている [703 ア] [703 イ]。

教職進路指導員は、日常的に教職課程担当教員と学生の指導状況等について情報共有を図りながら指導にあたっている。各指導員は、学生への指導状況を業務日報として報告しており、教職センターでは時事指導状況を把握するとともに、教職センター運営会議にて共有している [703 ウ] [703 エ]

また、各都道府県や政令指定都市の教育委員会から届く教員採用試験募集要項で情報収集を図り全キャンパスの教職センターに設置している。教職進路指導員が学生へ情報提供を行ったり、模擬授業や面接指導、場面指導など、教育委員会ごとの試験対策に取り組む際の学生指導に活用したりしている [703 オ]。

近隣府県を中心とした教育委員会による学生説明会の実施をしており、全体へ周知を行うと同時に当該府県出身者や教育実習予定者には個別に案内するなど、学生のニーズに応じた情報提供に努めている [703 カ]。

長所・特色《箇条書き》\*先駆性や独自性があるもの、有意な成果が見られるもの、他の組織の範となるもの、自己評価・現状「S」のもの

項目 No.

項目 No.

課題事項《箇条書き》 \*伸長すべき点、改善すべき点

項目 No.

項目 No.

### 3 伸長・改善に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【改善勧告】、【努力課題】、【留意点】等）への対応も含め、伸長・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<伸長・改善の進捗状況>

対象年度における取り組み \*成果の有無を問わない、前年度の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない

<今年度の伸長・改善計画>

項目 No.

課題事項と伸長・改善方策（到達目標を含む）

### 4 根拠資料

項目 No.	根拠記号	根拠資料の名称
701	ア	京都教育大学大学院連合教職実践研究科の運営に関する構成法人間協定書等
701	イ	京都教育大学大学院連合教職実践研究科ウェブサイト <a href="https://www.kyokyo-u.ac.jp/renjissen/">https://www.kyokyo-u.ac.jp/renjissen/</a>
701	ウ	特別推薦制度に係る説明会 案内
701	エ	2024 年度 京都地区大学教職課程協議会加盟校及び担当者一覧
701	オ	2024 年度 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会 加盟校および担当者一覧
701	カ	全国私立大学教職課程協会 定款 <a href="https://www.zenshikyo.org/about/index.html">https://www.zenshikyo.org/about/index.html</a>
701	キ	2024 年度 京都地区大学教職課程協議会 教育実習反省会 次第
701	ク	全私教協研究大会の運営要領
701	ケ	2024 年度教育実習巡回指導の方針について
701	コ	本学と京都市教育委員会との「学生ボランティア」学校サポート事業における学生の派遣に関する協定書
701	サ	京都府教育委員会との連携による「教員養成サポートセミナー」募集要項
701	シ	京都府教育委員会との連携による「教員養成サポートセミナー」参加者数 瀬田キャンパスにおける近隣中学校への学校ボランティア参加者数
701	ス	京都市、滋賀県教育委員会「教師塾」説明会案内。

701	セ	神戸市学生スクールサポーター登録申込書
701	ソ	介護等体験講演会依頼文
701	タ	教職実践演習全体会講演依頼文
701	チ	教龍会総会等 案内
703	ア	教職課程における指導体制の充実に資する「教職課程履修料」の徴収「教職進路指導員」の配置等について<概要>
703	イ	教職進路指導員任用規程
703	ウ	教職進路指導員日報（様式）
703	エ	教職センター運営会議における教職進路指導員活動報告実績
703	オ	教育委員会提供募集要項サンプル
703	カ	教員採用試験学内説明会案内（ポータルサイト掲載）

## II. 評価結果

総評
<p>701 京都教育大学大学院連合教職実践研究科（京都連合教職大学院）に参画し、加盟大学、京都府教育委員会、京都市教育委員会との連携・交流を図っている。京都連合教職大学院については、連合参加大学を対象に入学選抜における特別推薦枠が設けられている。特別推薦入試の制度や大学院での学びについて周知するため、本学学内にて京都連合教職大学院担当教員や連合教職大学院へ進学した卒業生による説明会を開催しており、学生の進路指導の充実に努めている。</p> <p>また京都地区大学教職課程協議会（京教協）、京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会（京私教協）及び全国私立大学教職課程協会（全私教協）にも加盟している。京教協は、教育実習受け入れ校を対象にアンケート、京教協加盟校を対象としたアンケートを実施し、その結果や実習状況について情報交換・共有をはかっている。本学は、アンケート結果を「教育実習指導」等を通じて、学生の指導にも活かしている。全私教協では2024年度第43回研究大会の運営委員校として、研究大会の開催に携わった。</p> <p>教職課程担当教員や学生指導教員は、教育実習校を訪問し実習校との情報共有を図りつつ協力関係を築き、適切な教育実習の実施に繋げている。大宮・深草キャンパスでは、京都市教育委員会と「学生ボランティア」学校サポート事業にかかる協定を締結し連携を深めている。その他、京都府教育委員会とも連携し「教員養成サポートセミナー」を実施し、学生が京都府内の中学校での学校ボランティアを行っている。瀬田キャンパスでは、近隣の中学校と連携し定期的に教職課程を履修する学生を学生ボランティアとして送り出している。また京都市教育委員会による「京都教師塾」、滋賀県教育委員会主催の「滋賀教師塾」の学内説明会（深草・大宮・瀬田キャンパス）を開催したり、神戸市教育委員会が取り組むスクールサポーター制度へ推薦したりするなど、学生に対して学習指導員等としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供している。</p> <p>その他、介護等体験を履修する学生を対象に講演会を実施し、特別養護老人ホーム職員や支援学校教員等をゲストスピーカーとして招聘し、体験現場の実情を学ぶ機会としている。4年次後期に履修する「教職実践演習」（教員免許状取得にあたる必修科目）では、9月に開催される初回授業（全体会）にて実務経験のある講師（他大学教員等）による講演を行っている。この他、教職課程の受講生に対し、教職に就く本学卒業生（諸学校、中学校、高等学校の教員）による実践報告会や交流会への参加を推奨している。本報告会や交流会は、受講生が教職現場の実情を学び、現職教員との交流によって教職に就く動機を深める機会となっている。</p> <p>以上より、教職課程における学生支援体制を整備し、学外機関と連携した様々な取り組みを実施するなど、学生支援は適切に行われていると評価できる。</p> <p>703 教職課程担当教員以外に、実務経験が豊富な者を「教職進路指導員」として任用し、進路支援や教員採用試験指導などを行っている。教職進路指導員は、日常的に教職課程担当教員と学生の指導状況について情報共有を図り指導にあたっている。また各指導員は指導状況を業務日報として報告し、教職センターでは、随時、指導状況を把握するとともに、教職センター運営会議で共有している。</p>

【学部等組織（教職センター）】

その他、各都道府県や政令指定都市の教員採用試験募集要項で情報収集を図り、教職進路指導員が学生へ情報提供を行ったり、模擬授業や面接指導など、教育委員会ごとの試験対策に取り組む際の学生指導に活用している。

近隣府県を中心とした教育委員会による学生説明会の実施をしており、全体へ周知を行うと同時に当該府県出身者や教育実習予定者には個別に案内するなど、学生のニーズに応じた情報提供に努めている。

以上より、「教職進路指導員」を任用し、教職課程受講生に対する修学支援及びキャリア支援の体制を適切に整備しているものと評価できる。

長所・特色

課題事項 \*各項に【改善勧告】【努力課題】又は【留意点】を記載